

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成27年 6月 16日

大分県知事 広瀬勝貞 殿

提出者

住 所 大分県別府市大字鶴見4333番地

氏 名 大分県厚生農業協同組合連合会

代表理事理事長 高田 健二

電話番号

0977-23-7111

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大分県厚生連 鶴見病院
事業場の所在地	大分県別府市大字鶴見4333番地
計画期間	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療機関
② 事業の規模	230床
③ 従業員数	450人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	《感染性廃棄物》 ・(株)エスプレス大分にて中間処理 → 【焼却】

(日本工業規格 A列4番)



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
※別紙1 (用度・施設緊急連絡網) のとおり			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (平成26年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	278.038 t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年同様、日本医療機能評価機構の観点も踏まえ、リユース、リサイクルを考慮した廃棄物の分別・選別の徹底。 ・ 感染性廃棄物削減の為の呼びかけ実施。 			
② 計画	【目標】 前年度 (平成25年度) 排出量維持		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	267.633 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全委員会を中心とした無駄やムラ、無理が無い、現場と一体化した見える管理を実施し、前年度と同等の排出量を維持するように努めます。 			
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染性廃棄物につき再使用または再利用できる物はありません。分別の時点では、まだ使えそうな物が混入していないかを確認し、ヒューマンエラーでの医療器具の混入を防いでいます。また、事業系一般廃棄物や、普通産廃の廃プラ等が混入していないかの確認を行います。残りは鋭利な物とそうでない物とを分別後、医療廃棄物容器に詰め込みすぎにならないよう一定量を入れ、密閉してから医療廃棄物倉庫に保管しています。 		
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。《現状近似値を維持》 		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
③ 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
③ 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（平成26年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	全処理委託量	278.038 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	278.038 t
	(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・処分場の視察【目の届く管理化】 今年度も1月に視察を予定しており、自院で排出された廃棄物がどのように処分されているかを確認している。 		

(第5面)

		【目標】前年度（平成26年度）排出量近辺を維持	
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
		全処理委託量	278.038 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t
		再生利用業者への 処理委託量	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	278.038 t
	② 計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。《現状近似値を維持》 	
	※事務処理欄		